

第一実業株式会社との 「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、第一実業株式会社（東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：船渡 雄司、以下「第一実業」）との間で、シンジケーション方式による「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」（※1、以下「本商品」）のアレンジャーに就任し、融資契約を締結しました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ方針や戦略と連携したサステナビリティ目標（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット：以下「SPT」）を設定し、金利等の借入条件を SPT の達成状況に連動させて目標達成への動機付けを行うことで、環境や社会面での持続可能な経済活動の促進を支援するローンです。

本商品は、国際的な原則である「サステナビリティ・リンク・ローン原則」に基づき、みずほ銀行が独自に開発したフレームワークを用いたサステナブルファイナンス商品です。本商品のフレームワークは、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」等に適合する旨の第三者意見書（※2）を取得しています。

本件は、第一実業がバイナリー発電、太陽光発電、アンモニアなどの次世代燃料への取り組みを推進していることや、環境負荷低減に資するソリューション提案の強化等により、CDP（※3）気候変動スコアにおいて「A－」以上を取得することを SPT として設定しています。

第一実業は、「人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに」を経営理念とし、総合機械商社として独自のエンジニアリング機能を生かした事業を展開しています。また「2050 年度までにネットゼロ」の達成を掲げるとともに、マテリアリティの一つとして「気候変動への取り組みとサプライチェーンマネジメント」を位置付け、サプライチェーン全体との協業を通じて、気候関連のリスク低減と機会獲得に向けた取り組みを推進しています。

〈みずほ〉は、パーパスである「ともに挑む。ともに実る。」のもと、お客さまの持続的成長および中長期的な企業価値の向上に貢献することをめざします。〈みずほ〉の強みであ

る「産業・業界知見」や「つなぐ力」を活かしたグループ体でのソリューションの提供を通じて、お客さまとともに挑戦していきます。

<案件の概要>

融 資 先：第一実業株式会社

アレンジャー行：みずほ銀行

貸 付 人：国内金融機関

契 約 金 額：100億円

契 約 締 結 日：2026年7月21日

契 約 期 間：3年

みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO 評価書

https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/finance/growing_field/sll_pro/pdf/2026_02.pdf

※1：「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」の商品概要にかかるウェブサイト

https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/sustainability/sll_pro/index.html

※2：株式会社日本格付研究所（JCR）による第三者意見書

https://www.jcr.co.jp/download/eadaabe82ee29a25dd3ead0db3dd1d4e22b212aa6ec27e2a5b/25d1126_02.pdf

※3：CDP

英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）。脱炭素社会の実現に向け、企業や自治体等の気候変動対応や GHG 排出量削減等の取り組みに関する情報を収集し、取組状況に応じたスコアリングを世界に公表することにより、各企業等の環境影響を認識させ、さらなる取り組みを促進させることを目的としている（<https://cdp.net/ja>）